

九州ルーテル学院大学認定心理士資格及び 認定心理士（心理調査）資格取得に関する規程

（趣旨）

第1条 この規程は、履修規程（第4条及び第4条の2）の規定に基づき、認定心理士資格及び認定心理士（心理調査）資格取得に関し必要な事項を定めるものとする。

（履修科目及び単位数）

第2条 認定心理士資格を取得する者は、必要な科目として、別表1に定める科目を修得しなければならない。

2 認定心理士（心理調査）資格を取得する者は、必要な科目として、別表1及び別表2に定める科目を修得しなければならない。

（履修方法）

第3条 前2項に定める授業科目の履修方法は、学則並びに履修規程及び本規定の定めるところによる。

（申請手続き）

第4条 認定心理士資格及び認定心理士（心理調査）資格を取得する者は、卒業後に（社）日本心理学会に所定の費用を支払い、申請手続きを行わなければならない。

（雑則）

第5条 この規程に定めるもののほか、この規程の施行に関し必要な事項は、別に定める。

（改廃）

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和5年（2023年）4月1日から施行する。また、この規定は、令和5年度以降に入学した者について適用する。

別表1（認定心理士資格）

認定の領域		科目名	認定単位	修得の目安
基礎科目	a	心理学概論	1年：心理学概論（必修）	a領域4単位、bとc領域の合計が8単位以上かつ最低4単位分はc領域、合計で12単位以上になること。
			3年：教育心理学（必修）	
	b	心理学研究法	2年：心理学統計法（必修）	
			2年：心理学研究法	
			3年：データ解析演習（注2）	
	c	心理学実験・実習	2年：心理学実験（必修）	
			3年：心理測定法	
			3年：人間科学研究実習	
			3年：心理演習Ⅰ（注1）	
			3年：心理演習Ⅱ（注1）	
選択科目	d	知覚心理学	2年：知覚・認知心理学	
		学習心理学	2年：学習・言語心理学	
			2年：感情・人格心理学（注2）	
選択科目	e	比較心理学	2年：神経・生理心理学	
		生理心理学	3年：臨床神経心理学	

	f	教育心理学 発達心理学	1年：発達心理学	2	d～hの5領域中3領域で各4単位以上（2単位科目を必ず含める）、かつ5領域合計が16単位以上になること。
	g	人格心理学 臨床心理学	1年：臨床心理学概論	2	
			2年：心理学アセスメント	2	
			2年：心理学的支援法	2	
			2年：障害者・障害児心理学	2	
			2年：認知行動療法	2	
			2年：現代の精神保健の課題と支援Ⅰ（注2）	1	
			2年：現代の精神保健の課題と支援Ⅱ（注2）	1	
			3年：精神疾患とその治療Ⅰ（注2）	1	
			3年：精神疾患とその治療Ⅱ（注2）	1	
			3年：健康・医療心理学	2	
			3年：福祉心理学	2	
			3年：教育・学校心理学（教育相談）	2	
			3年：精神分析学	2	
	h	社会・産業心理学	2年：社会・集団・家族心理学（注2）	1	
			3年：司法・犯罪心理学（注2）	1	
			3年：産業・組織心理学	2	
他	i	その他の科目	4年：卒業研究（心理学の内容）	4	

（注1） 心理学コースの学生のみ履修可

（注2） 申請時の認定単位、「本学の履修単位の2分の1」となる。

別表2（認定心理士(心理調査)）

（社）日本心理学会認定「認定心理士（心理調査）」履修科目整理表

以下をすべて履修すること。認定心理士資格申請科目と重複してもよい。

認定の領域		科目名	認定単位	修得の目安
概論	心理調査概論	2年：心理学研究法	2	2単位以上
	心理調査法			
統計	心理統計学	2年：心理学統計法	2	2単位以上
実践	発展／展開研究	3年：人間科学研究実習	2	6単位以上
	（実習）	4年：卒業研究（注）	4	

（注）調査・実験・観察・面接・尺度構成・検査などの方法を用いて1名で行う研究であること。